

内山メモ

令和4年度ラジオメディカルセンター放射線監視委員会（2022. 12. 08開催）

1. 開会、市長挨拶の後、委員会会長選出が行われた。会長選出は、立候補・推薦ともに無く、事務局提案による滝沢市農業団体・渡邊美香子氏（新岩手農業協同組合滝沢支所長・新委員）の就任が了承された。副会長に、学識経験者委員の千葉啓子氏（八戸学院大学教授）が再任された。（出席委員5名、欠席委員3名）

2. 事務局より下記の「報告」があり、一部再確認を含めて承認された。

（1）令和3年度ラジオメディカルセンター環境放射能測定結果

1) 排気中の放射能濃度測定結果（毎週測定）：

全放射能（ $\beta$ ）・ヨウ素-125測定値は、前年度同様検出限界値未満。

2) 排水中の放射能濃度測定結果（排水時測定）：

全放射能（ $\beta$ ）・ヨウ素-125測定値は、前年度同様検出限界値未満。

測定値一覧表中の一部空欄について指摘があり、確認・報告することになった。

（現地視察の席上、「検出限界値未満」の記載漏れであることが確認され、修正。）

3) 空間線量率測定結果（滝沢研究所入口付近、毎月測定）：

測定値は前年度同様であり、異常はなかった。

4) 積算線量測定結果（定点9ヶ所、3ヶ月積算値）：

測定値は前年度年同様であり、異常はなかった。

5) 環境資料の放射能測定結果：

資料（土壌-7ヶ所、河底土-2ヶ所、河川水-2ヶ所、水道水、牧草、牛乳-各1ヶ所、10ヶ所の玄米-内1ヶ所の玄米は今年度入手失敗）のガンマ線、

資料（河川水、水道水）の全ベータ放射能、

測定値は、前年度同様検出限界値未満。

6) 参考資料

上記5)の環境資料において、ラジオメディカルセンター非取扱核種であるCs-137およびK-40についての放射能測定結果：

測定値は、前年度同様検出限界値未満。

（2）令和4年度ラジオメディカルセンター環境放射能測定中間報告（9月まで）

1)～6)項目略：前年度同様の結果で、異常は見られない。

（3）令和4年度日本分析センターによる2ヶ所の土壌資料放射能測定結果：

（日本分析センターによる日本アイソトープ協会の測定値の「クロスチェック」）

測定値は検出限界値未満で、日本アイソトープ協会による測定結果と矛盾せず。

3. 令和5年度ラジオメディカルセンター環境放射能測定計画：

令和5年のラジオメディカルセンター環境放射能測定基本計画が提出され、承認された。

（＊ 当該年度、クロスチェックの実施はない。）

4. 事前質問等についての報告。

（1）滝沢研究所焼却処理施設の保管庫が満杯になった後の計画と方針について。

⇒ 1) 医療分野の最終処分策の法令は未定であるが、滝沢研究所敷地内において最終的処分を行うことはない。

2) 研究分野の最終処分については検討中であり、医療分野の物も最終処理を委託することになる。

3) 日本原子力研究開発機構発機構が策定中の埋設処分実施計画には、医療用の埋設処分も対象とすることが明記されている。

(2) 現在の焼却処理施設の稼働状況。

=> 1) 焼却処理施設は休止継続中。

2) 廃棄物の搬入は現在停止中（受け入れ対象外「核種」混在のため）。

（＊ アルファー泉源医薬品（ゾーフィゴ）の混入か？）

(3) 仁科記念サイクロترونセンター廃止措置後の状況。

=> 1) 令和2年5月15日廃止届を提出し、令和4年3月16日廃止措置が完了。

2) サイクロترونとPIXI 装置は撤去されたが、岩手医大の診療施設は存続。

（＊ PET用ポジترون放射性医薬品の作成できないが、薬品会社より購入可。）

以上